



第 126 回 バイオサイコシンポジウム

鳥類における脳容量と脳幅の関係

日時: 2010年11月25日(木) 18:30 – 20:00

場所: 三田キャンパス東館4階セミナー室

Date and Time: Thursday, 25th November, 2010; 17:30 – 19:30
Venue: G-SEC Seminar Room, 4th floor, East Research Building,
Mita Campus, Keio University

講演者: **河部壮一郎氏**

(東京大学大学院理学研究科 / 総合研究博物館)

河部氏は、鳥類を主な対象とし、比較計測学的な手法を用いた脳構造の進化に関する研究をされています。従来、脳サイズの種間比較は、直接計測できる場合を除き、頭蓋(脳内)鑄型を元に容量推定することで行われてきました。しかし、不完全な化石標本から絶滅種の脳を推定するには困難がありました。河部氏は、頭蓋鑄型の幅が、脳の種間比較の指標となることを発見され、今後、恐竜にさかのぼる鳥類を含めた、脊椎動物の脳の進化の理解にさらなる広がりをもたらす研究として注目されています。

【河部壮一郎氏の略歴】

愛媛大学大学院理工学研究科の松田正司教授の研究室で上記研究による修士号を取得後、現在は、東京大学大学院理学研究科 / 総合研究博物館の遠藤秀紀教授の指導の下、後期博士課程の大学院生として、主に鳥の脳の進化に関する研究を進められています。

会費無料、事前登録は不要、言語日本語

企画: 慶應義塾大学グローバルCOEプログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点」脳と進化班 伊澤栄一

<http://www.carls.keio.ac.jp/>

E-Mail : keiocarls@info.keio.ac.jp